

# LMcorsa

**60**  **H.YOSHIMOTO**  
 **R.MIYATA**

## SUPER GT 2019 Race Report SPORts land SUGO Official Test

8月10日 - 11日 | 天候:くもり/雨 | コース:スポーツランドSUGO | 路面:ドライ/ウェット

### TEST Days Summary

2日間通じて不安定な気候となった第3回のSUPER GT公式テスト

LMcorsaはタイヤの比較テストを中心に  
二日間で152周を走行して、終盤の残り3戦に備える

### TEST Days

8月3日（土）、4日（日）に富士スピードウェイで行なわれた2019 AUTOBACS SUPER GT 第5戦の「FUJI GT 500mile RACE」。

LMcorsaは上位入賞を目指し、シリーズ前半の4戦とは異なるセットアップや新たに開発したタイヤを持ち込み、勝負を懸けた。しかし、予選では今シーズンワーストとなる27位となり、シーズンでもっとも長い800kmの決勝レースもミスなく走り切ったものの22位まで追い上げるのが精一杯で、失意のレースとなってしまった。

富士スピードウェイでの厳しいレースを終えたチームはそのままサーキットに残り、宮城県のスポーツランド SUGO で実施される公式テストのために車両のメンテナンスを実施した。SUPER GT はシーズン中のテストを制限している一方で、公式テストデーを設けている。今回は第7戦の舞台となるスポーツランド SUGO で、シーズン3回目の公式テストが実施された。8月10日（土）と11日（日）に二日間に亘って行なわれた公式テストは、計4枠のセッションで、それぞれ2時間ずつの走行枠が設けられている。第3回の公式テストに参加したマシンは、GT500クラスが15台でGT300クラスが24台の計39台。シーズンの残り3戦を想定したテストを行なうこととなった。



## TEST Days

0日は朝からスポーツランド SUGO を霧が覆い、小雨も降るあいにくのコンディションとなった。9時からスタートしたセッション1はウエット宣言が出され、コースインを見送るチームもあった。セッション開始から20分ほど経過すると霧が濃くなり、視界不良のためにセッションが中断。約40分の中断を経て10時過ぎに再開となる。ここまでSYNTIUM LMcorsa RC F GT3はコースインせずにピットに留まっていて、コースコンディションの回復を待った。2時間のセッション

は結果的にウエット路面のまま、宮田莉朋選手が1周を走行したのみで、タイム計測は行なわなかった。

セッション2との間のお昼休みにはオープンピットが実施され、夏休み期間ということで多くのSUPER GTファンがピットロードを訪れた。この日は、宮田選手の20歳の誕生日でもあり、オープンピット時にLMcorsaのチームスタッフがお祝いをする場面も見られた。



セッション2は予定通りの13時50分からスタートし、午前のセッションが中断したために終了時間が25分延長となる。SYNTIUM LMcorsa RC F GT3には吉本大樹選手が乗り込み、タイヤの比較テストを中心に走行を重ねた。コースコンディションはドライとなり、想定したメニューを着々とこなしていく。セッションが残り1時間になると吉本選手から宮田選手にドライバーチェンジ。2時間25分のセッション中に12回のピットストップを実施し、2人のドライバーは合計で81周を周回した。周回数はGT300クラスの29台中で最多となり、テストプログラムを着実に消化。テストなのでタイムの重要性は低いが、ベストタイムは1分19秒878で18番手という結果となった。

テスト2日目となる11日もスポーツランド SUGO は曇り空に覆われていたが、前日のような降雨はなく、ドライコンディションの下でセッション3はスタートする。8時15分のコースオープンとともに走行を開始したSYNTIUM LMcorsa RC F GT3には吉本選手が乗り込む。昨日と同様に数周ごとにピットストップを行ない、引き続きタイヤテストをこなしていく。このセッションは吉本選手が1人で45周を走行し、ベストタイムは1分19秒523。17番手というリザルトになった。



## TEST Days

最後のセッションは 14 時 30 分から予定されていて、その前に GT500 クラスと GT300 クラスの全車によるセーフティカー訓練が組まれている。午前中はドライコンディションだったが、セッション 4 の開始 30 分ほど前からスポーツランド SUGO に再び雨雲が押し寄せる。それほど雨量は多くなかったが、セーフティカー訓練の前にコースは全面ウエットコンディションとなってしまう。宮田選手が SYNTIUM LMcorsa RC F GT3 のステアリングを握ってセーフティカー訓練を行ない、そのままセッション 4 に入る。雨量は増減を繰り返し、路面の水量は定まらない。テストとしては厳しいコンディションの中で宮田選手は 25 周を走行して第 3 回の公式テストを終えた。

2019 年の SUPER GT は残すところ、オートポリス戦、スポーツランド SUGO 戦、ツインリンクもてぎ戦の 3 戦のみ。苦戦が続く LMcorsa だが、今回の公式テストのデータを最大限に活かして、好成績を求めて戦って行く。



## Team Comment



Driver :吉本 大樹

セッション 1 と 4 がウエットコンディションになって走行時間が限られてしまいましたが、それなりのテスト内容にはなりました。両日ともに基本的にタイヤの比較テストが中心で、コースに合いそうなモデルが見つかりました。セットアップに関してはあまり手を加えていませんが、9 月に開催されるオートポリスやスポーツランド SUGO に向けて様々なデータが獲れたと思います。今後は、このデータをどのようにアレンジしていくかがポイントになります。前回の富士戦は厳しい内容でしたが、このタイミングでテストができたことは収穫でした。



Driver :宮田 莉朋

セッション 2 の半分とセッション 4 で乗ったのですが、セッション 2 はタイヤの比較テストを担当しました。吉本選手と 2 人で様々なタイプを試したのですが、履いた中には良さそうなものがありました。チームとしてもデータが獲れたと思います。セッション 4 は前半の雨量が少なく、履いていたレインタイヤとコンディションが合いませんでした。ドライコンディションの下で走る機会が少なかったのですが、それはどのチームも一緒に、得たデータを活かして終盤の 3 戦を戦っていきたいです。